

水産学部 アセスメント・ポリシー

平成31年1月30日

(目的)

- (1) 水産学部では「北海道大学アセスメント・ポリシー」に基づき、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で示された教育目標への到達度を高めるために教学アセスメントを実施する。

(実施体制)

- (2) 水産学部の教学アセスメント実施責任者は、学部長とする。
- (3) 水産学部の教学アセスメントは、水産学部教育改善委員会において実施する。

(実施及び分析)

- (4) 水産学部の教学アセスメントは、別に定めるアセスメント・チェックリストにより実施する。
- (5) 評価結果を参考とした教育改革の内容は、積極的に公表する。
- (6) 教学データの取り扱いについては、本学の関係規程等を遵守し、個人情報等の保護につとめる。

水産学部 アセスメント・チェックリスト

水産学部の学位授与水準(DP)

DP1	多様な教養科目の履修を通して、幅広い教養、高いコミュニケーション能力、人間や社会の多様性への理解、独創的かつ批判的に考える能力、社会的な責任と倫理観を身につけている。
DP2	専門科目として、水産学部共通科目のほか、各学科の専門教育分野に関連した学科基盤型科目、学科深化型科目の体系的履修を通して、水産科学に関する幅広い知識と各学科の専門科目の内容を深く理解し、それらに関連する科学実験・実習の基礎的な知識と技術を身につけている。
DP3	卒業研究や演習、論文講読を通して、着想力、探究心、論理的思考力、説得力、表現力、判断力、問題解決力、研究企画力などの総合的能力を身につけている。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	水産学部専門科目授業アンケート	7月、1月	毎年	2～4年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し、教員に教育方法改善の指針を与える。	水産学部
2	成績評価	9月、3月	毎年	2～4年生	・成績の点検	GPAが卒業要件未充足の学生、成績不良者に対する修学指導を実施	学科長 学科担任	成績をもとに履修指導を行う。	水産学部
3	1, 3年次学修状況調査	10～12月	毎年	1, 3年生	学習状況についての項目 英語学習状況についての項目 大学生活や教育環境に対する評価、意識についての項目	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示し、今後の教育制度を検討する際の参考とする。	総合IR室
4	卒業時調査	1～3月	毎年	4年生	入学理由、学習目標の達成度、教育内容の評価、在学中の海外経験、学生生活の満足度、本学部の教育に関する要望	Webアンケートシステム	学生	評価に基づき、教育・学生支援体制の見直しを検討する際の参考とする。	水産学部
5	卒業生調査 (OB/OG調査)	9～1月	毎年	卒後5,10,15年目の卒業生	大学在籍時の基本属性に関する項目 大学での学修成果に関する項目 卒業後の大学との関係に関する項目 就業状況に関する項目 外国語の運用能力に関する項目 就職後の学習意欲・生涯教育の状況に関する項目 (水産学部独自の調査項目) 寮生活に関する項目 (大学院水産科学院に進学した者への調査) 授業への取り組み姿勢・習熟度の関する項目 留学に関する項目 入学前の海外経験に関する項目	質問紙	卒業生	教職員に開示し、今後の教育制度を検討する際の参考とする。	総合IR室
6	業界研究セミナー参加企業向けアンケート	2月	毎年	水産学部主催セミナーの参加企業	卒業生の採用状況に関する項目 卒業生の能力に関する項目	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラムを検討する際の参考とする。	水産学部
7	企業等調査 (就職先調査)	1～3月	3年に1回	卒業生の就職先	卒業生の採用状況に関する項目 卒業生の能力に関する項目	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラムを検討する際の参考とする。	総合IR室
8	DPによるカリキュラム点検	12月	1年に1回	カリキュラム	DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング、カリキュラムマップ、各種調査結果によるDPとカリキュラムの相互参照	水産学部教員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	水産学部